

1. 略歴

- 1980年3月 東京大学文学部東洋史学専修課程卒業
- 1983年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（東洋史学）
- 1988年9月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学（東洋史学）
- 1988年10月 茨城大学教養学部専任講師
- 1989年4月 同 助教授
- 1993年4月 東北大学大学院国際文化研究科助教授
- 1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（1997年度は東北大学大学院と併任）
- 2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授
- 2010年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

イスラーム法、ハディース

b 研究課題

ハディース（預言者ムハンマドの言行の記録）の形成過程を研究している。

c 概要と自己評価

現在、8つのハディース群を取り上げて、イスラーム法の発展と対応させながらその形成過程を詳細に調べており、3年以内の英文による刊行を目指している。進捗が遅いのもう少し速度を上げる必要は感じている。

d 主要業績

(1) 論文

柳橋博之、「旅行中の斎戒義務をめぐるハディースの展開について」、『イスラム世界』、81、pp.33-71、2014.4

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、神戸大学大学院国際協力研究科、「イスラム法社会論」、2015.9～2016.3

(2) 学会

国内、一般社団法人日本イスラム協会、代表理事、2014.4～

日本中東学会、評議員、2015.4～